

11

HIGASHI COMPASS

2024年
11月29日

junior high school

ノーブルな祭典

校長 林 武宏

学園祭が無事に終了しました。小雨降る時間帯もあり、スポーツ大会に続いて、空を見上げて晴れを願う時間もありましたが、フィナーレまで予定どおり運動場にてやり切ることができました。保護者の皆様には、傘を差しながらの模擬店回りやお食事など、ご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご協力をありがとうございました。どの行事もそうですが、この学園祭も生徒の企画立案を大切に準備を進めてきました。昨年度以上の来校者を見越して、よりパワーアップした学園祭にしていこうと、キッチンカーを1台から5台に増台し、また、当日券売り場のオペレーションもスムーズになるようキャッシュレス決済を導入。東くじやプレイランドも運動場に配置換えし、校舎・体育館では学習発表をじっくりとご覧いただく、そして運動場はお祭りを楽しんでいただく場とエリア分けをはっきりさせました。キッチンカーや店舗で販売する商品は、生徒が候補選びから決定まで行っています。「クレープ」は販売数が見込めないから見送ってはという職員のアドバイスも、結果的に「絶対に売れる」という生徒の意見のとおり、当日は大盛況となりました。東久留米の美味しいパン屋さんの販売も、発案・プレゼンから業者との交渉まで生徒の手で進められ、実現しました。そうした実行委員生徒の準備が、いらしていただいた方々の満足にきつとつながったことと思います。

学習の中間まとめとしての教科展示。1・2年生ABクラスは探究科の個人成果の発表。3年生ABクラスは来校者対応として店舗で販売をしたり、教室展示の説明をしたり、受験希望者に対する学校説明を担った生徒もいました。CDEクラスは、劇発表。1か月程の練習でしたが、どの生徒も役になりきり、舞台上でしっかりと発表できました。この劇発表には、ABクラス生徒も、大道具担当として毎年希望者が加わってくれています。上級生ともなればその希望者は大変多く、抽選で決めています。10月の終わりにリハーサルを見させてもらいましたが、そのときよりもずいぶんブラッシュアップして当日を迎えました。劇リハで生徒たちには、「この役がよかった」とか「セリフがたくさんあっていいな」とか練習の過程で思った人もいるかもしれないけれど、役割の軽重やセリフの多寡はあっても全員が主役なのです、という話をしました。まさに全員が主役の劇をご覧いただけたことと思います。生徒たちの学習の成果を、いろいろな形で見ていただいた学園祭でもありました。

また、保護者の皆様には、「できる人ができることを、楽しくやりましょう」という後援会本来の趣旨のとおり、学園祭サポートを「この指とまれ」方式でお願い致しました。多くの皆様にご協力いただきましたこと、あらためましてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

学園祭が終わってから、保護者の皆様から多くの感想をいただいています。感想を一つひとつ読ませていただきながら、今年度を省みつつ、来年度の学園祭をさらによいものになりたいという思いを抱いているところです。さて、その感想の中に、「活気の中に、ノーブルな雰囲気のある文化祭でした」という言葉を頂戴しました。ステージでの発表、映像や展示、教室での発表や説明、模擬店・受付での接客など、それぞれの場面で「表現する」ことの多い期間です。表現することは、自分を見つめ、相手の存在を尊重する行為でもあります。例えば、探究科発表に向けて、聞いている人にどう話せば、わかりやすいかを考えたはずです。あるいは劇発表で、セリフをどんなふう言えば、見ている人が笑ってくれるか考えた、という生徒もいるでしょう。こんなふうには、自分の表現を受けとめる誰かのために、準備をすること。このような活動に取り組む機会は、生徒にとっても大変に意味のある機会です。武蔵野東中学校の文化祭。文化活動は、人々に楽しさや感動、生きる喜びをもたらす、人生を豊かにするものです。また、豊かな人間性と創造性をはぐくむとともに、他の人に共感する心を通して、他人を尊重し、共に生きる資質をはぐくむものです。心を豊かにしましょう、と全校生徒に呼びかけた式典で始まった、この中学校の文化の祭典に対して、「ノーブル」という評価をいただけたことは、これ以上ない喜びでした。さらに質の高い教育を目指していきます。



学園祭 テーマ: Here we go! ~仲間とともに~

1・2年AB組による探究科プレゼン、CDE組の劇発表、SHOW TIME、また受付や展示案内など、様々な場面で生徒たちが主体的に生き生きと活躍する姿が見られました。今年も在校生のご家族に加え、入学希望の受験生、武蔵野東小学校の児童、そして卒業生の来校もあり、にぎやかで活気のある学園祭となっています。実行委員の生徒たちはもちろんのこと、生徒一人ひとりが、それぞれの役割を担ったことで、皆、達成感と充実感を味わうことができました。以下に各学年の生徒の感想を掲載します。

【1年生】

<AB組>○探究科ゼミ発表のスライドは、前日まで手直しをたくさん加えていました。そのおかげか、内容が頭に入っていてとても話しやすかったです。○探究科に関しては、夏休みから活動していることもあって、達成感が一番あった。○ゼミ発表は、何より親が見に来てくれたことがうれしかった。○プレイランドの手伝いは、最初は「お金を扱う仕事」として少し緊張しましたが、お母さんが優しく接してくれ、楽しく仕事を行うことができました。○ほとんどの昼休みを費やして行っていた(実行委員の)企画の仕事が成功して本当によかった。○CDE組の劇は、いつもとちがうみんなの一面や、本職かと疑うほどの圧倒される演技をする先輩方を見て来年も楽しみになりました。○劇の大道具は、少し緊張したけれどもうまくできた。友達のがんばっているところを一番近くで見られてよかった。

<CDE組>○ぼくは、劇で警察官とナレーター役をやりました。初めは少し緊張しましたが、張り切って言うことが出来ました。○最後のエンディングの歌では、マイクでしっかりと歌うことが出来ました。○午後にはAB組と一緒に行動しました。ストラックアウトやモルックを友達とやり楽しかったです。



【2年生】

<AB組>○探究科では、約1年近くかけて個人探究を進めてきての集大成だった。高い完成度まで持っていくことができた。友人の探究発表もとても楽しめた。○探究科では、作っていくうちにどんどん面白くなり、テーマの軸や伝えたいことが定まり、熱い気持ちで発表に臨めた。○展示では、特に社会のNews Fileで様々なジャンルの出来事を考えたことで、ニュースをもっと見るきっかけとなりました。○一人ひとりが自分の興味について探究していて、その人となりを理解出来たと思います。○劇見学は、感動の連続でした。○今回の学園祭は、目的を持って取り組めたので、今までで一番充実した行事だったと思います。

<CDE組>○一生懸命練習した劇と演奏をみんなの前でできたことをとても嬉しく思います。○セリフを言わない間での演技や動作をほとんど覚えていたところが良かったです。○劇で僕は受付役を演じました。緊張しましたが、セリフの強弱をつけられて、上手くできました。○ショータイムではとても盛り上がりました。みんなで立ち上がって応援しました。○スーパーボールすくいが楽しかった。

【3年生】

<AB組>○実行委員として1学期から準備を進めてきました。SHOW TIMEに向けて、参加者を集めることから、委員をまとめ、目標に向けて、優先順位を決めるなど、責任を伴うものが多かった。○中学校生活最後の学園祭でした。自分たちが楽しむとともに、外部の方々の接客をする時間があり、武蔵野東中学校の魅力を沢山発信できたと思います。○私は、今回の学園祭で、学校紹介を行いました。前日に中学校の魅力が伝わるように考えて臨みました。また、片付けでは、3年生がお互いに助け合い自分のできることを自分で見つけて働くことができました。○CDE組の劇が、一番心を動かされました、心から感動しました。

<CDE組>○今回の学園祭は、わたしにとってすべてが最後なので忘れられない思い出の一つになりました。この3年間の学園祭は本当に楽しかったです。○劇の練習では、マイルズを怒るシーンやキムから花束を貰うシーンを上手くできるように頑張りました。○約一か月ほど劇練習をしてきて、言われたことだけでなく、自分で変化をつけながら、演技や台詞をいうことなど、工夫してきました。

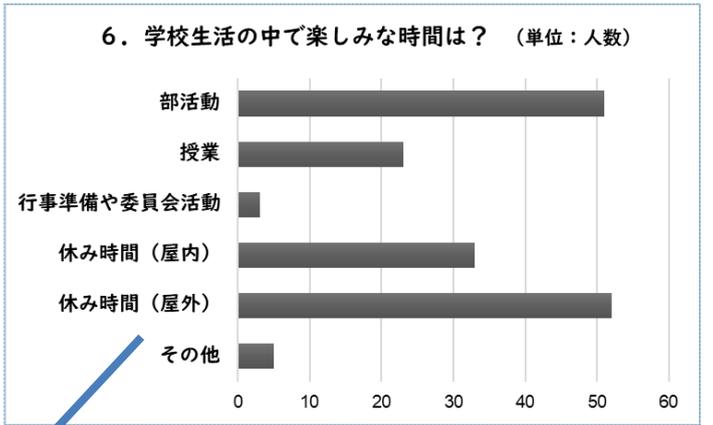
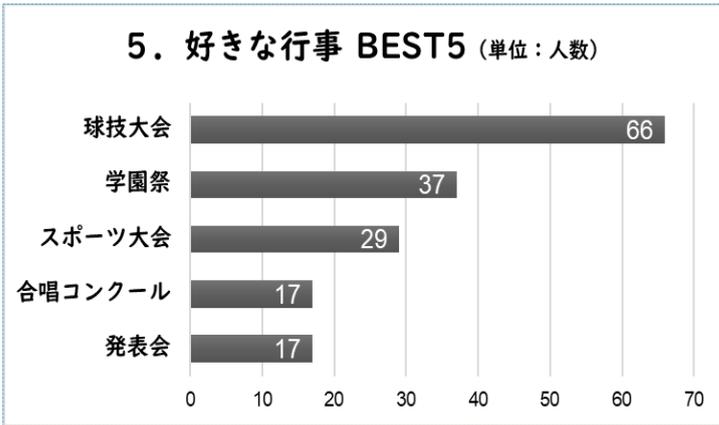
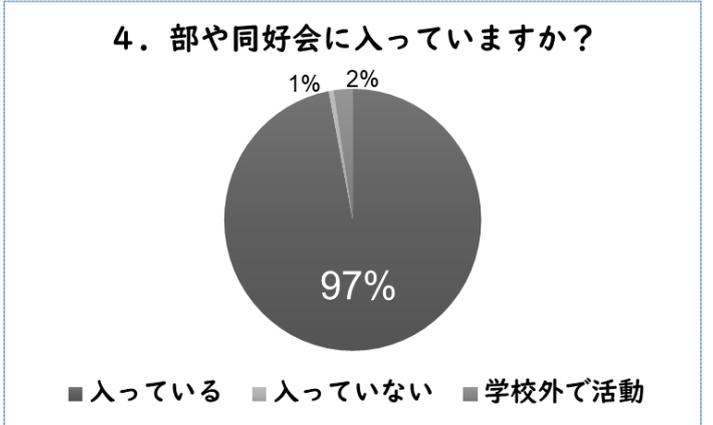
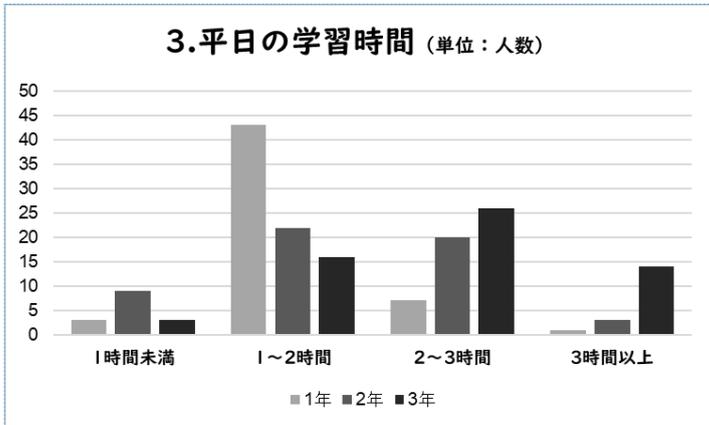
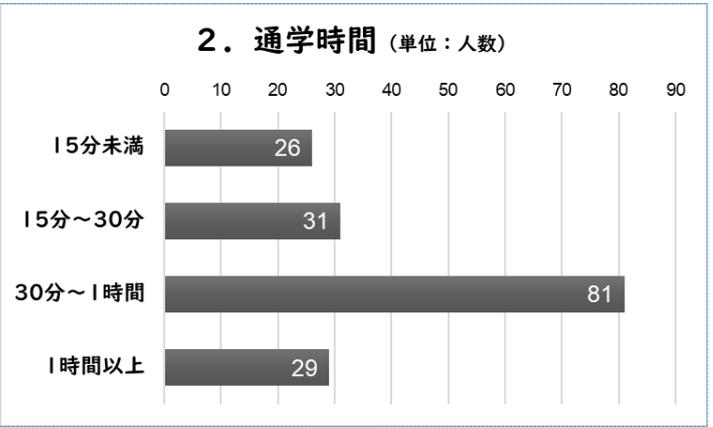
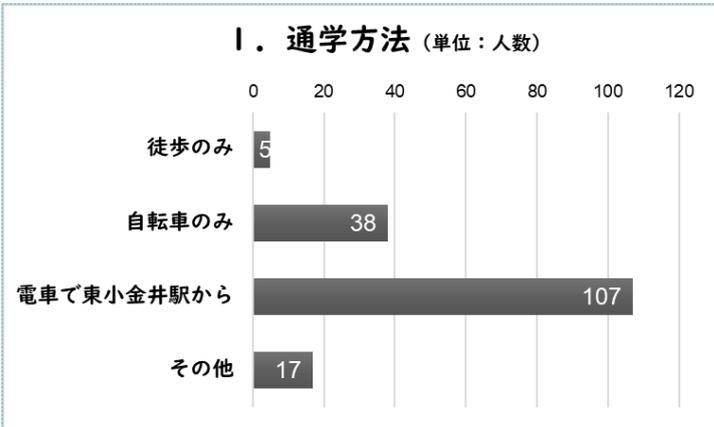




学校生活アンケート



学園祭にて、入学希望の小学生向けに「学校紹介」のコーナーを設けました。1～3年ABクラス対象に行った「学校生活アンケート」の結果をもとに、3年生が自分たちのことばで学校の紹介を行っています。*以下がアンケートの結果です。



・休み時間 (屋内) …先生や友だちとおしゃべり、読書、図書室のテラス など
 ・休み時間 (屋外) …バレーボール、サッカー、おにごっこ、バスケ など
 ・その他…特進、HR、友だちとの登下校



7. 探究科に取り組んだ感想

1年生

- ・自分が興味を持って選んだゼミだったので、実際に調べて楽しかったし、もっと調べたいと思った。
- ・ゼミのみんなと力を合わせて取り組むものがとても楽しい。
- ・難しいし大変だけど、その分やりがいがある面白。

2年生

- ・調べるほど、面白い情報を得ることができて興味深い。
- ・さまざまな文献を要約する力が身についた。
- ・答えのないものを自分で考えて発表するので、将来的にも役立つと思う。

3年生

- ・知識が増え、物事を客観的に、また多面的に見られるようになった。
- ・批判的思考を身につけることができ、日常の小さなことにも疑問をもてるようになった。
- ・大学で学びたい分野について深く知ることができ、ためになった



8. 好きな給食ランキング

- 1位 ジャージャー麺
- 2位 あげパン
- 3位 カレーライス
- 4位 からあげ
- 5位 豚丼、焼きそば、
ミートソーススパゲティ、
わかめスープ



3年生への質問

◎東中生活で一番変わったところは?(主なもの)

- ・積極性が身についた。 ・計画的に自主学習をする習慣が身についた。 ・協調性、他人との関わり方
- ・多様な考え方を持てるようになった。 ・探究する精神 ・スピーチ力、わかりやすく相手に伝える力

◎東中生を一言で表すと?(主なもの)

元気、個性豊か、十人十色、団結力、熱意、真面目、活発、面白い、優しい、自由、主体的、何事にも全力、ユーモア、文武両道、正義感





第38回 毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト

毎日新聞社賞(全国2位)受賞! (3827校中)

※表彰式の様子は、来月号でお知らせします。

11月の部活動試合結果

硬式テニス部

- 東京都中学校テニス選手権大会予選第10ブロック体会(団体の部)男子(10/27 昭島市立昭和中学校)
団体戦 1回戦 対 国分寺四中 3-2勝 2回戦 対 東京電気大中2-3負

サッカー部

- 東京都中体連サッカー第10支部新人大会(10/26 昭島市立昭和中学校)
決勝トーナメント2回戦 対 立川ニ・三中 1-2負

ダンス部

- 第77回全国中学校・高等学校ダンスコンクール
(11/23 日本女子体育大学総合体育館アリーナ(特設会場))
「メタモルフォーゼ～変身×カフカより～」 奨励賞



バスケットボール部

- 令和6年度東京都中体連10地区新人大会 兼 都大会予選(11/16, 17 立川九中、早稲田実業中)
1回戦女子 対 昭和中 41-21勝 2回戦女子 対 早稲田実業中 13-70負
1回戦男子 対 小平五中 30-61負

野球部

- 令和6年度立川市中学校野球大会(11/3 コトブキヤスタジアム)
交流戦 立川五・七中 7-4勝



体操競技部

- 第65回東京都中学校体操競技新人大会(11/3 江東区第二南砂中学校)
1年松永さん 28.25 1年 櫻井さん 13.15

美術部

- 第52回東京私立中学・高等学校生徒写真・美術展
3年滝本さん 入選 3年藤本さん 入選 2年田代さん 入選 2年中込さん 入選

